

こどもクリニックニュース

NO. 223 平成30年8月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成30年9月まで)

8月	1日	(水)	2才健診	加須・保健センター
9月	3日	(月)	3才健診	騎西・保健センター
	6日	(木)	休日診療・会議	加須市役所
	10日	(月)	3才健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

小児科休日診療の当番

平成30年10月までの当番一覧です。

加須市では4月～10月は祝日に、11月～3月は元日を
除くすべての日曜・祝日に小児科休日診療を行っています。

8月	11日	(土)	つのだ小児科医院
9月	17日	(月)	福島小児科医院
	24日	(月)	ともながこどもC
10月	8日	(月)	ともながこどもC

※診療時間は9:00～12:00です。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の
広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

休診の予定

勝手ながら、下記の予定で診療を休ませて頂きます。

- ① 8月20日(月)～25日(土)
- ② 9月15日(土)



感染症の情報

7月後半から、ヘルパンギーナの流行が目立ってきました。保育園での流行が多く、今後も長引く可能性があります。手足口病もやや流行していますが、昨年よりは少ないようです。その他、プール熱、溶連菌感染症も流行しています。

5月頃に問題となった麻疹の流行は、全国的にもほぼ収束しました。ワクチンの流通も完全に回復しましたので、定期接種だけでなく成人の方の任意接種も、ご希望通りに実施しています。

日本は「麻疹の排除国」ではありますが、海外ではまだまだ麻疹の流行地域があります。今回の流行の始まりも、海外からの持ち込みや紛れ込みが原因でした。今後再び同じような流行が起きる可能性がありますので、その時に備えるために、麻疹ワクチンは合計2回の接種が強く推奨されています。

熱中症に注意!!!



熊谷では最高気温の新記録「41.1℃」が出てしまいました。その後やっと過ごしやすい気温になりましたが、このまま「秋」になるはずもないでしょう。

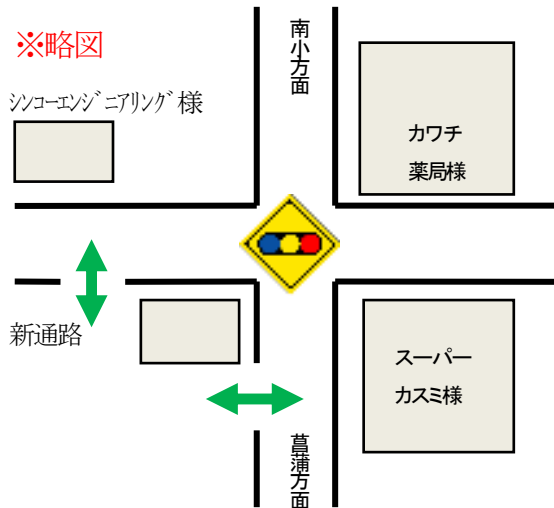
多くの方はだいぶ暑さに慣れてきているはずですが、それでも油断すると危険な時期です。とりわけ高齢者と小さな子供には危険な天候が続くはずですので周囲の方が十分注意してあげてください。

自分で服装の調節ができない赤ちゃんは、短時間のお出かけでも体温が上がります。水分補給はもちろんですが、エアコンや扇風機を積極的に使って体を冷やしてください。

出入り口を追加

当院の北側に県道が一部開通したことに伴い、当院敷地の北西の一角に、県道との連絡道を新設します。南小方面やビバモール方面から来院される際や、ビバモールや菖蒲方面へ帰る際に、交差点を利用して右左折・直進が可能になり、安全性が向上するものと思います。

8月上旬には供用できる予定です。東側の既存の出入り口も引き続き使用できます。



注意：北側県道はまだ完成していないため、センターラインや右折レーン等は引かれていませんし、路上に障害物も設置してあります。シンコーエンジニアリング様の業務用車両も通行しますので、ご利用の際はご注意ください。



来年のスギ花粉の量は？

今年の春のスギ花粉は、平年並みかやや多かったと言われています。さて来年はどうなるでしょうか。

スギの花芽は、初夏から夏にかけてできると言われていいます。関東地区ではおおむね7月頃になりますが、その時期の気温が高いほど花芽の量は多くなることが分かっています。今年は記録的な早い梅雨明けとともに、猛暑が続きました。おそらくこの春以上の量のスギの花芽がつくられて、「来年のスギ花粉は今年よりも多い」ことが推測されます。

スギ花粉の舌下免疫療法（体質改善）を検討している方は、そろそろご相談を！！

スギ花粉の免疫療法・新薬発売

スギ花粉の舌下免疫療法は、いままでは12歳以上の小児および成人しか保険診療の適応になっていませんでしたが、今回新しい剤型の薬剤の発売とともに、年齢の制限が無くなりましたので簡単に紹介します。

今までの治療薬は「水薬」で冷所保存が必要でしたが、「錠剤」が新発売されました。室温で保存できます。また年齢の制限もなくなりましたので、錠剤服用（正確には舌下服用）が可能なら小学1年生でも治療可能です。

ただし、すべての新薬に共通の条件があります。新発売後1年間は、1回の診察ごとに最高2週間分までしか薬の処方できません。つまり2週間に1回は通院する必要があります。今までの「水薬」なら月1回の通院で済みますので、少しハードルが高いかもしれません。来年の7月からは「1か月分の処方」が可能になりますが、来春のスギ花粉の量を想像すると、重症のお子様は今年中に治療を始めたほうが良いかもしれません。



夜間や休日の急病対策

埼玉県救急電話相談（#7119）

小児・成人共通で、家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が電話相談に応じます。また医師の診察が必要だと判断されたときには、受診可能な医療機関（歯科を除く）の名称、所在地、電話番号を知らせてくれます。

24時間/365日で実施中です。

北川辺地域は 048-824-4199 へ。

小児の電話相談だけなら、#8000も使えます。

こどもの救急（日本小児科学会）

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。

<http://kodomo-qq.jp/>

当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150